

マップの利用上の注意と掲載情報

洪水・土砂災害ハザードマップは、市内の避難所や洪水が発生した場合の浸水想定区域、土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域等を地図上に整理したものです。皆さんのご家庭や職場周辺の危険箇所を知り、避難場所や避難経路を考えておきましょう。

浸水想定区域

赤根川、清滝川が大雨によって増水し、堤防が決壊した場合の浸水予測結果に基づいて、浸水の範囲と深さを表示しています。

洪水の規模は、概ね**50年に1回程度**の大雨を想定しています。

なお、雨の降り方や土地の状態などにより、それ以外の地区も浸水することがあります。

土砂災害警戒区域

急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、危害が生じるおそれがある区域。

土砂災害特別警戒区域

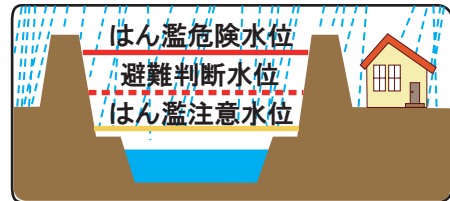
急傾斜地の崩壊等が発生した場合に建築物の損壊等の著しい危害が生じるおそれがある区域。開発行為の許可制や建築物の構造規制等が行われます。

※土砂災害防止法に基づき、平成26年4月までに福井県が指定した区域を掲載。

洪水に関する河川の水位情報

	赤根川 (大橋)	清滝川 (新在家)
はん濫危険水位 ・はん濫が起こる恐れのある水位 ・避難指示を発令する目安となる水位	3.00m	2.80m
避難判断水位 ・避難開始の目安となる水位 ・避難勧告を発令する目安となる水位	2.50m	2.00m
はん濫注意水位 ・水防活動の目安となる水位 ・避難準備情報を発令する目安となる水位	2.20m	1.50m

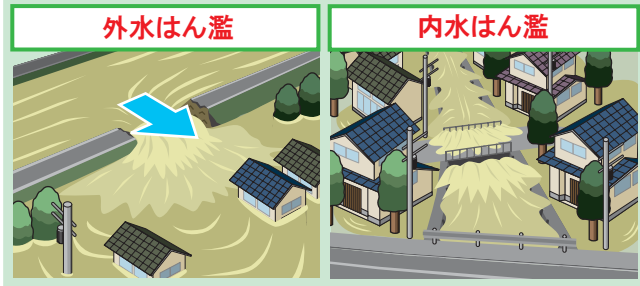
赤根川・清滝川では、安全な場所への避難およびその準備を行うための目安となる水位の基準を設けています。これらの情報はインターネットでも公開されています。
<http://ame.pref.fukui.jp>



外水はん濫と内水はん濫

河川の水位が堤防を越えて水が溢れたり、堤防が決壊して水が流れ込んだりすることで起こるはん濫を「外水はん濫」といいます。

これに対し、雨水をスムーズに河川に排水できず、下水道や水路から水が溢れることにより起こるはん濫を「内水はん濫」といいます。豪雨時に水が溜りやすい場所や低地、窪地など内水はん濫が発生した場合に危険が予想される場所からは速やかに避難しましょう。



雨の強さと降り方(1時間降雨量)

雨の強さ	1時間降雨量	特徴
やや強い雨	10～20mm未満	話し声が聞き取りにくくなります。長雨になりそうなら警戒が必要です。
強い雨	20～30mm未満	土砂降りの雨。傘をさしていても濡れてしまうほどの雨です。小さな河川なら、はん濫・がけ崩れの心配もあります。
激しい雨	30～50mm未満	山崩れ、がけ崩れが起りやすくなります。道路規制も行われます。避難の準備を。
非常に激しい雨	50～80mm未満	滝のように雨が降り、あたりが水しぶきでまみれます。家の中で寝ている人の半分くらいが気づくほどの激しい雨です。
猛烈な雨	80mm以上	息苦しくなるような圧迫感があり、恐怖を感じます。大雨による大規模な災害が起こる恐れがあります。厳重な注意が必要です。

■大雨・洪水に関する注意報・警報について

福井地方気象台から次のような場合に注意報・警報が発表されます。

大雨注意報・洪水注意報	災害が起こるおそれがある場合に発令されます。 平地地:1時間雨量25mm以上、平地地以外:50mm以上
大雨警報・洪水警報	重大な災害の起こるおそれのある場合に発令されます。 平地地:1時間雨量40mm以上、平地地以外:80mm以上
大雨特別警報・洪水特別警報	重大な災害の危険性が著しく高まっている場合に発令されます。

・大雨などの時には、テレビ、ラジオなどにより最新の注意報、警報の発表状況を確認するようにしましょう。
・テレビ・ラジオの他には、NTTテレホンサービス「177」や気象庁ホームページ(<http://www.jma.go.jp/>)でも確認できます。

土砂災害について

※土砂災害の前兆現象等を確認した場合は、市役所または福井県奥越土木事務所までご連絡ください。※マップに記載されていない場所でも土砂災害が発生するおそれがありますので十分ご注意ください。

土石流	山腹や川底の石や土砂が、長雨や集中豪雨などの大量の水といっしょになって津波のように襲ってくる現象です。 ● 谷川に大きな石がごろごろあるところ。 ● 裏山に急な谷川があるところ。 ● 過去に谷を流れた土石流が谷の出口のところに堆積してきた扇状地。 ● 山鳴りがする。 ● 雨が降り続けているのに、川の水位が下がる。(土砂により上流で流れがせき止められている。) ● 川が濁ったり、流木が流れる。
急傾斜地崩壊(がけ崩れ)	急ながけや山の斜面が突然崩れ落ちる現象です。一瞬にして崩れ落ちるので、逃げ遅れる人も多く被害が大きくなります。 ● がけにひび割れがしているところ。 ● がけの上部がせり出しているところ。 ● 急ながけで高いところ。 ● がけから水が湧き出したり、がけの表面が水が流れているところ。 ● がけに割れ目が見える。 ● がけから水が湧き出している。 ● がけから小石がバラバラと落ちてくる。 ● がけから木の根が切れる等の音がする。
地すべり	地下水が粘土のような、すべりやすい層にしみ込んでそこから上の地面が、しみ込んだ雨水などの影響でゆっくり動き出す現象です。 ● 沢や井戸の水が濁る。 ● 地面にひび割れができる。 ● 斜面から水が湧き出す。 ● 家や擁壁に亀裂が入る。 ● 家や擁壁、樹木や電柱が傾く。

避難に関する情報

市による発表 避難に関する情報が発表された時にとるべき行動

避難準備情報(はん濫注意情報) 避難の準備を始めましょう

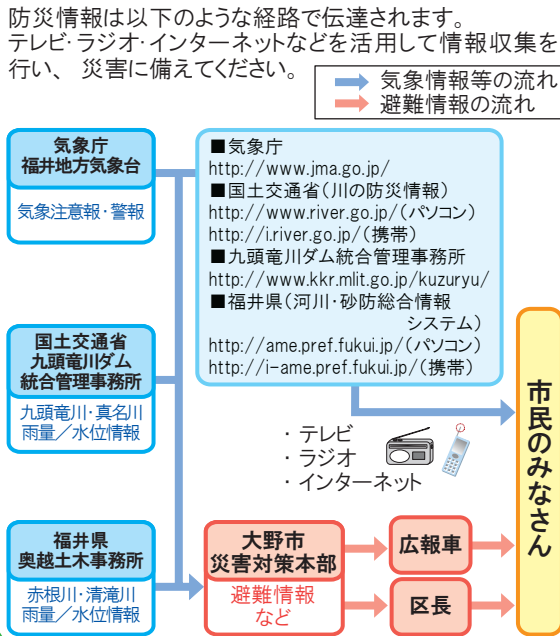
避難勧告 速やかに避難を始めましょう

避難指示 直ちに避難!!

避難が必要な場合は、防災行政無線等でお知らせします。

防災行政無線テレホンサービス 66-1127

情報の伝達経路



避難時の持ち物

- 生活用品
 - 懐中電灯
 - 携帯ラジオ
 - 電池
 - ローソク
 - マッチ・ライター
 - ナイフ
 - 缶切り
 - タオル(大・小)
 - ティッシュ
 - ビニール袋
 - 歯ブラシ
 - 携帯電話(充電器)
 - 緊急医薬品
 - 消毒薬
 - 脱脂綿
 - 包帯
 - ガーゼ
 - バンソウコウ
 - 常備薬
 - お薬手帳
 - 貴重品
 - 現金
 - 貯金通帳・印鑑
 - 健康保険証・免許証
 - カード類
 - その他
 - ヘルメット(ずきん)
 - 生理用品
 - おむつ
 - 粉ミルク・哺乳瓶
 - 衣類・防寒具など
 - 下着類
 - 衣類(長袖)
 - 軍手(手袋)
 - 防塵マスク
 - 防寒具
 - 雨具
 - 毛布・寝袋
 - 水・非常食
 - 水(1人1日3ℓ)
 - 非常食(乾パン、缶詰、レトルト食品など)
- (その他必要な物)

避難時の心得

いざという時のために、日ごろから避難に必要なものを整理し、避難の手順について家族で話しあっておきましょう。

あらかじめ安全な避難路の確認を	非常持出品の事前準備を	避難の呼びかけに注意を	動きやすい格好、2人以上での避難を
お年寄りなどの避難に協力を	正確な情報収集と早めの行動を	車での避難は控えて	避難するときは足元に注意を

要配慮者のために

高齢者の方のために ● 緊急の時は、おぶって安全な場所まで避難する。 ● 複数の支援者で対応する。	耳が不自由な方のために ● 話すときは、口の開け方をハッキリとし、相手にわかりやすいようにする。 ● 手話、筆談、身振りなどの方法で正確な情報を伝える。
目の不自由な方のために ● 緊急の時には、声をかけ、情報を伝える。 ● 誘導する場合には、杖を持った方の手には触れず、ひじのあたりを軽く持つてもらい、半歩前をゆっくり歩く。	車イスをご利用の方のために ● 階段では、2人以上の協力が必要で、上りは前向き、下りは後ろ向きにして移動する。 ● 支援者が1人の場合、ひもなどを用意し、おぶって避難する。